

【こども部会 検討報告書】

- 1 日 時 令和8年6月22日(月)14時30分から15時45分
- 2 場 所 入間市役所 5階 505会議室
- 3 出席者 磯田部会長、岩崎委員
- 4 欠席者 田中委員

1. プラン構成について検討した結果

●相談方法や支援体制の充実化

チャット形式等で相談できるよう、また、専門的な方の支援体制の充実化を図る。

●施策の評価

年度毎に各課の事業内容も含めて評価ができるか検討する。

2. 次期プランへの意見

施策5 障がい児相談支援の実施

※障がい者福祉プラン25ページ

◆相談関係が築けていない人、相談につながっていない人等はどうやって相談につながるのか。インターネットで相談ができるようにしたり、親からの相談経路を見出したりできるとよいと思うので、検討してほしい。

施策7 子どもの育ちをみんなで一緒に支える支援体制の充実を図る

※障がい者福祉プラン 31 ページ

◆『入間市児童発達支援センター』だと発達障害しか対象にしていらないように受け取れる。「入間市児童発達支援センターういずが『すべての』障がい児支援の中核的役割を担い、…」というように『すべての』を追加してもらえるとわかりやすくなると思うので、関係機関と検討してほしい。

(3)訪問支援体制の充実

◆医療的ケア児等コーディネーターの配置をプランで定めているので、医療的ケア児等コーディネーター等専門的な方が訪問支援をするという内容も追加した方がよいと思うので、検討してほしい。

施策8 一人ひとりが違うことの素晴らしさを共に学ぶ保育・教育・福祉に取り組む

※障がい者福祉プラン 3 1 ページ

(1)インクルーシブ保育・教育・福祉の充実

◆「インクルーシブ」について、保護者等への理解を深めるために講演会等を開催し、普及啓発をしてほしい。

◆児童も学びが深められると、子どもから大人へと普及することができると思う。性教育だったか、学校を巡回して講話をしていたことがあったと思うので、同じようにしてはどうか。担当課に確認してもらい、検討してほしい。

(3)心のバリアフリーの推進

◆図書を購入しただけでは、手にとって見てもらえない。普及啓発週間等のように期限を決めたりして、図書室に特設コーナーを設けてもらい、児童が手に取って読んでもらえるようにしてほしい。また、各学校に図書ボランティアがいて読み聞かせを児童に行っていると思うので、読んでもらうように依頼してほしい。

可能であれば、障がいに関する寄贈された本の数を管理して、それがどのくらい借りられているのか等検証してほしい。

全体的なこと

◆市の公式 LINE で、子育ての欄に『障がい』についての項目がないので、相談できる内容として明記することで相談につながることもあると思うので、検討してほしい。

◆返事がすぐにこなくても、チャット形式で相談ができるとよいと思われる。若者には、慣れ親しんだ形式なので利用しやすいと思うので、検討してほしい。

◆他市では、毎年度末に施策の評価をしている。施策の事業毎に関係課で取り組みや目標を定めてもらい、年度毎の評価ができるとよいと思うので、検討してほしい。